

平成27年度「助産師出向コーディネーター養成研修」2015年8月7日

「助産師出向システム推進のカギ」 ～島根の助産師出向支援を振り返って～

公益社団法人 島根県看護協会
常任理事(事業担当) 徳若光代

本日伝えたい内容

1. 出向支援モデル事業の位置付け
2. 出向までに準備をしたこと
3. 出向事業の承認と評価
4. コーディネーターに求められる資質

1. 出向支援モデル事業の位置付け

1. 看護職員確保対策事業の一環とした事業であり、
県医療政策課看護職員確保Gが主幹
2. 周産期医療体制や周産期医療従事者に係る勤務
環境については、県健康推進課母子難病Gが主幹
3. 県行政担当課の看護職確保Gと母子難病Gの担当
に本事業について説明し、目標が共通であり、相
互に連携をして取り組みたいと提案、了解を得た

◆ 助産師出向目的を明確化する

島根県第7次看護職員需給見通し

平成24年に36.6人の不足だが、従事届によると44人の不足⇒助産師は増えているが需要も伸びている。

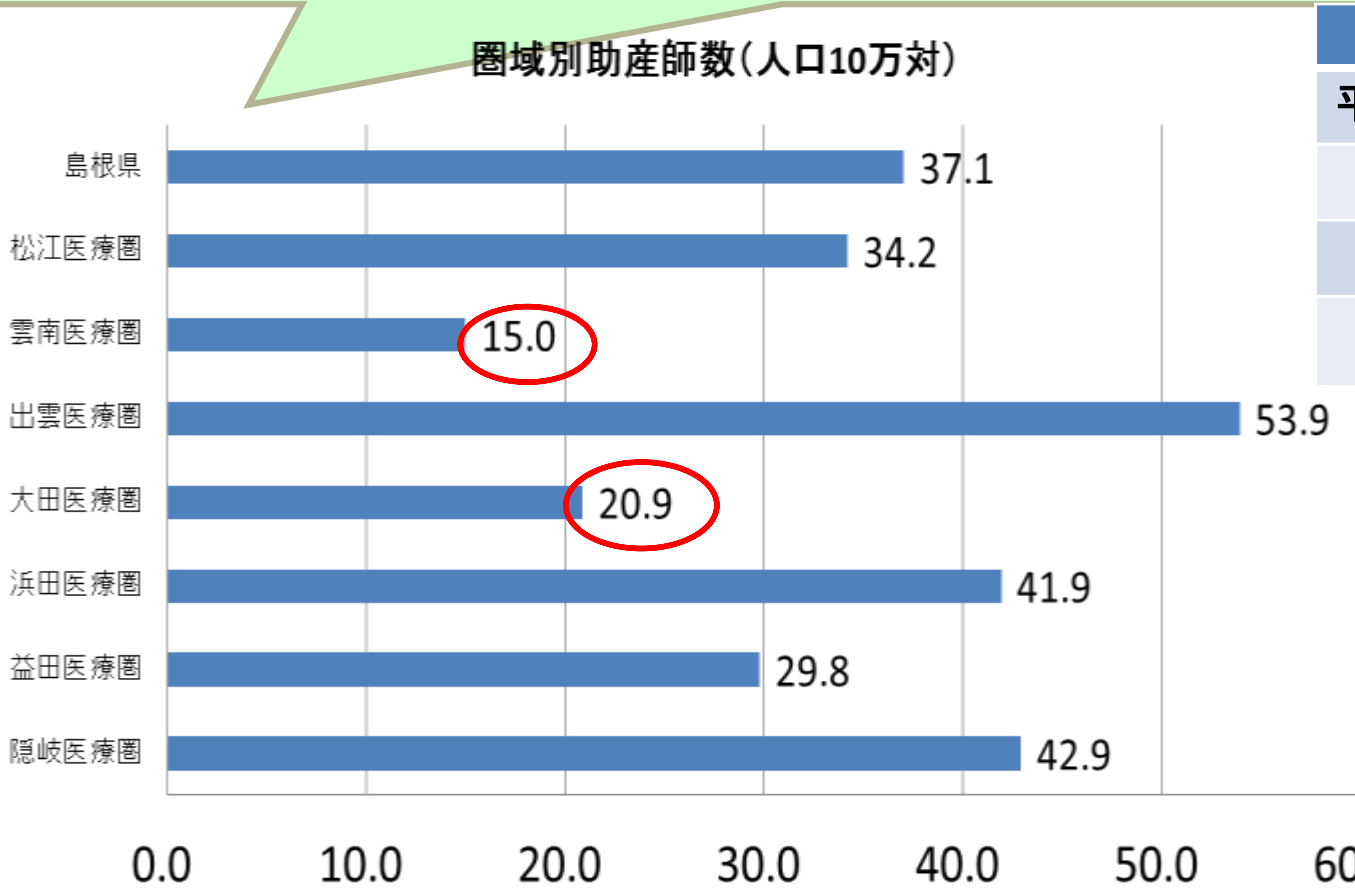
目的

- ①助産実践能力の向上
- ②助産師の地域偏在の是正
- ③新人助産師卒後研修として助産実践能力の修得
- ④混合病棟勤務でハードな業務の中、レベルアップ、モチベーションの維持向上
- ⑤出向を行うことによる県内全体の助産業務の質向上
- ⑥診療所への出向では、正常分娩の件数が多く経験できる
- ⑦助産師外来、院内助産開設のための技能修得

2. 出向までの準備 「関連データの収集分析」

◆助産師数

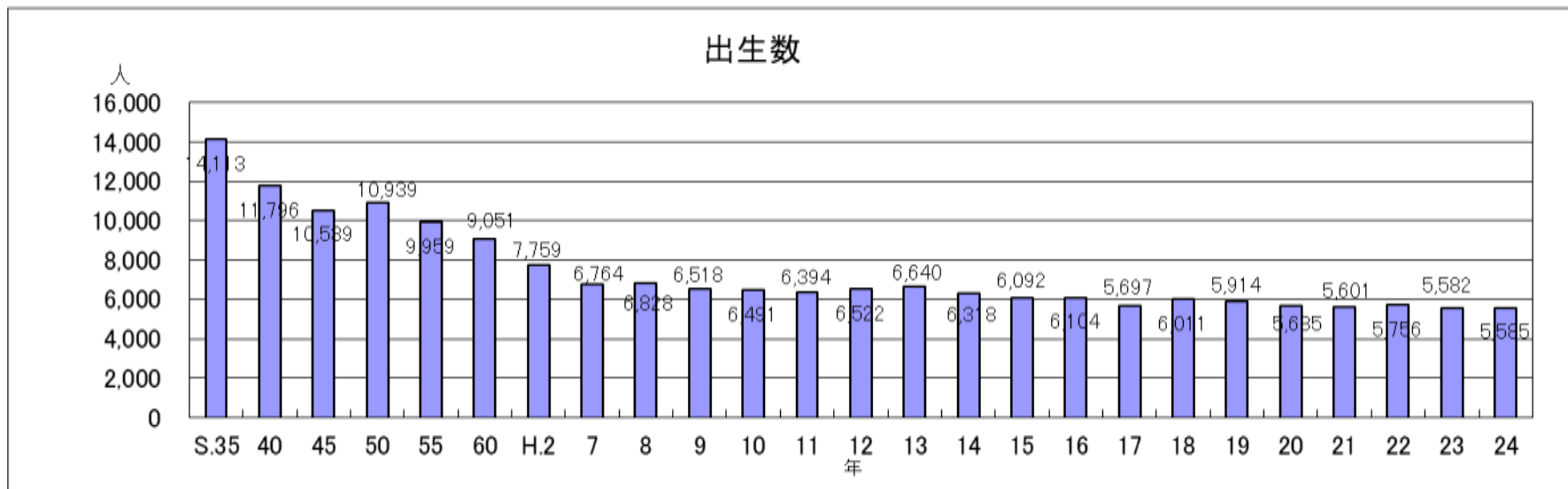
平成24年度の調査では、人口10万対の助産師数は、全国25.0に対して、37.1と、全国平均以上の就業助産師数となっているが、医療圏ごとにみると、山間部等において就業助産師数が少なく、**地域偏在が課題**



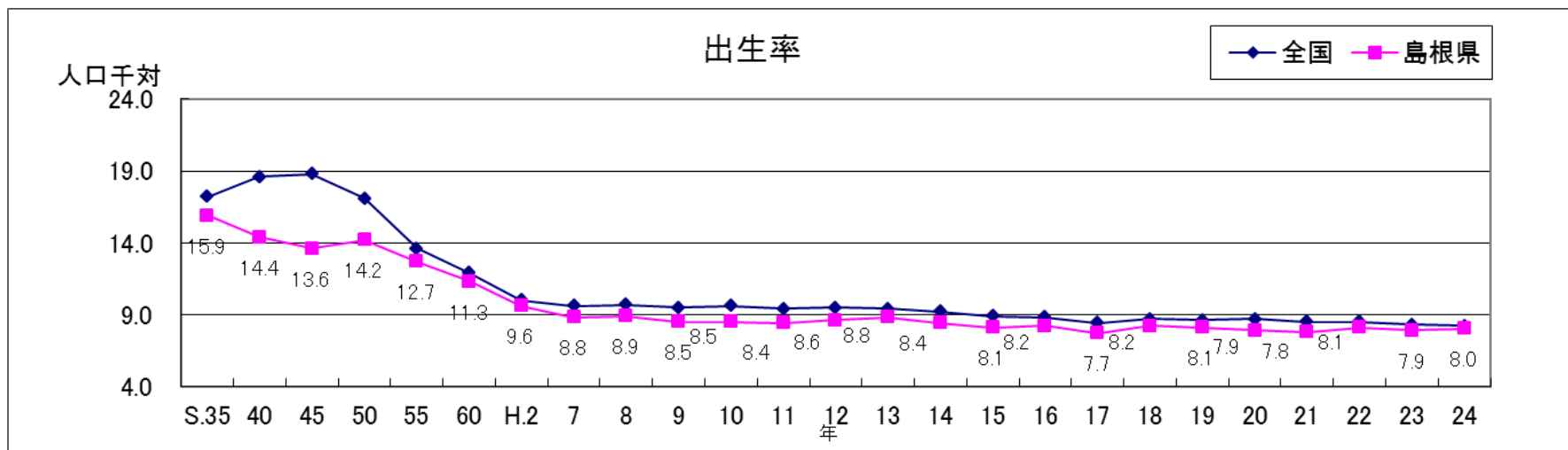
年	就業助産師数
平成18年	205人
20年	222人
22年	226人
24年	246人

◆周産期医療の現状把握 「島根県の出生数の推移」

H24年 5,585人 出生率8.0(全国8.2) 合計特殊出生率1.68(1.41)



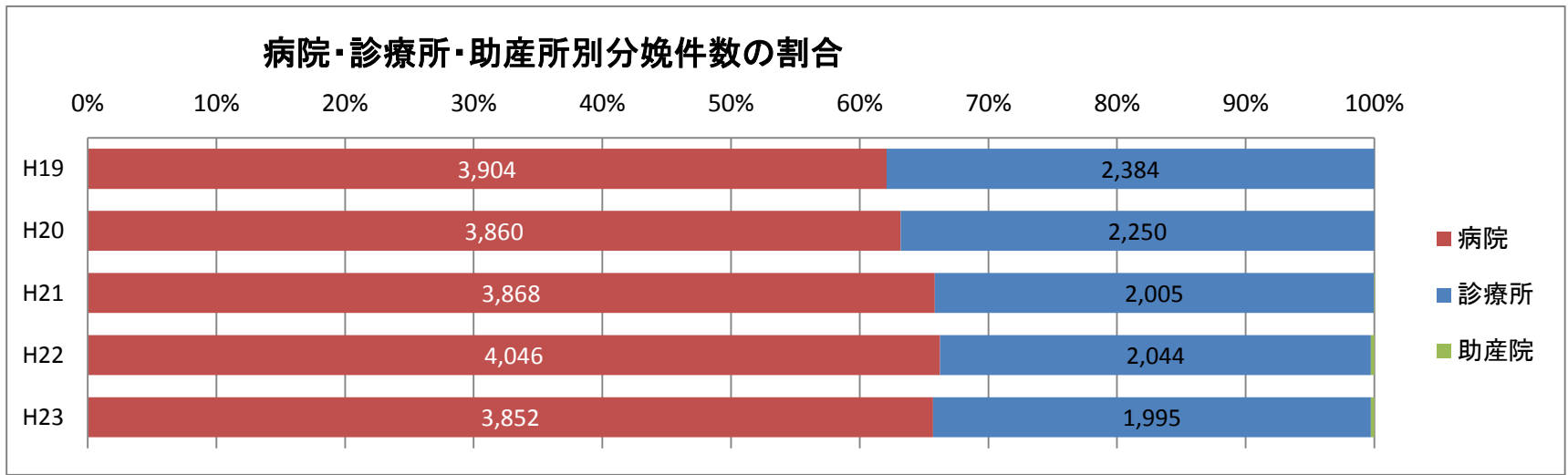
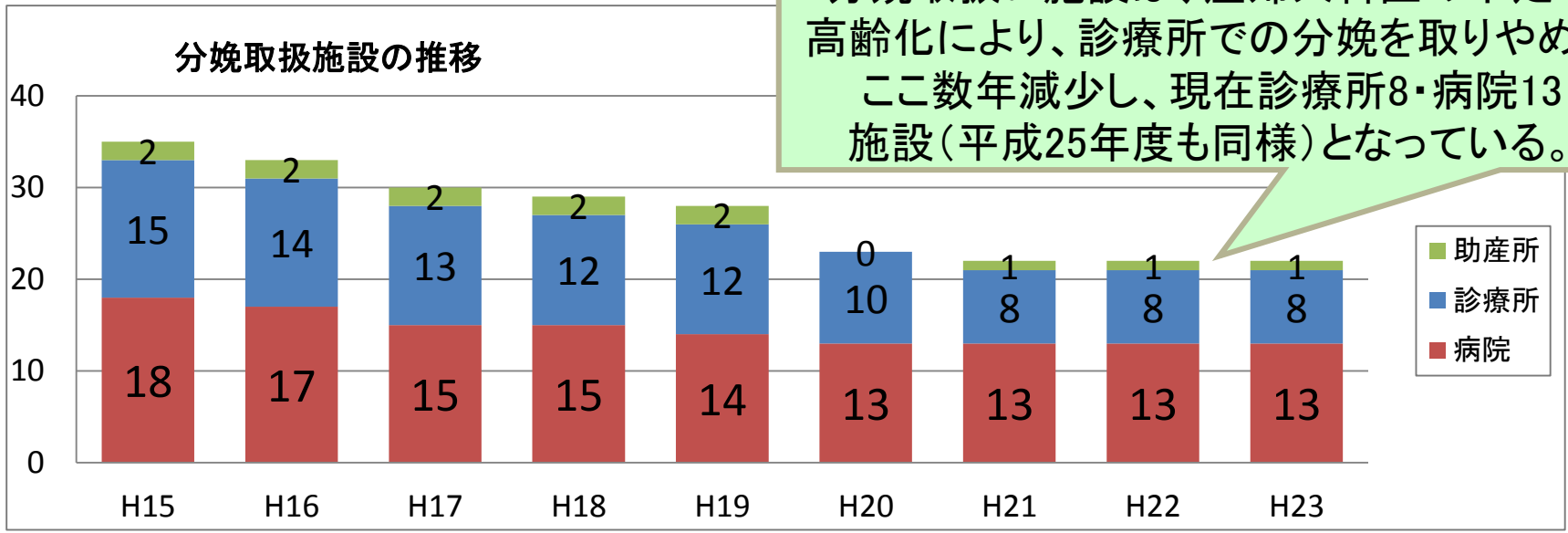
資料:人口動態統計(厚生労働省)



資料:人口動態統計(厚生労働省)

◆周産期医療の現状把握 「分娩取扱い施設数の推移」

分娩取扱い施設は、産婦人科医の不足や高齢化により、診療所での分娩を取りやめでここ数年減少し、現在診療所8・病院13施設(平成25年度も同様)となっている。



資料: 島根県周産期医療に関する調査(健康推進課)

◆周産期医療の課題

「周産期医療体制のあり方について報告書」抜粋

周産期医療体制

- 産科医不足を背景に、それぞれの地域で分娩できる体制の維持が危惧される。
- 開業医の減少もあり、勤務医の負担が増大し、過重労働に拍車を掛けている。
- 看護職員の不足により、助産師が助産師業務に専念できない。
- 助産師は若年層が多く、十分な経験や高度な技術を要する業務が担えない。

周産期医療従事者に係る勤務環境

- 周産期医療を担当する医師の不足により、一人あたりの負担が増加し、長時間労働を余儀なくされる。
- 周産期に係る医療訴訟が多いことから、周産期を志す者が減少している。
- 女性医療従事者にとって、育児支援に関する環境整備を一層充実する必要がある。

出向希望施設の募集概要

1. モデル事業の説明会を開催 平成25年11月1日、8日、13日

会場: 県内3か所

対象: 分娩取扱病院、診療所、助産所の看護管理者、事務責任者等

2. 出向元・出向先の希望施設募集

対象: 県内分娩取扱施設すべてを対象

方法: 文書「助産師出向支援モデル事業受け入れ可能性に関する意向調査」

内容: 参加希望の有・無、出向の形態、マッチング希望施設名

3. 募集期間 平成25年11月25日～12月6日

⇒「有」施設について「助産師出向先・出向元事前情報収集シート」の提出

4. 応募状況

参加希望「有」が病院 **12** / 13、診療所 **4** / 8、助産所 **0** / 1

5. 事前情報収集: 他施設で研修希望ありの情報が1件

出向支援モデル事業説明会（松江・出雲・浜田会場）

島根県看護協会と島根県医療政策課の合同説明会として、すべての分娩取扱い施設に文書文で通知をして開催した。

- ☆分娩施設の看護管理者だけでなく、院長・事務長等の出席もあり各施設の現状や問題等について伺う機会にもなった。
- ☆出向事業について協会長と県医療政策課のグループリーダーがそれぞれの立場から説明をして、意見交流の場とした。



3. 出向事業の承認・支援

島根県協議会委員の就任について

日程調整、面会をして事業の理解・協力を得ながら就任要請をした

所 属	役 職
島根県医師会	会長
島根県産婦人科医会	会長
島根県助産師会	代表(元助産師会長)
学識経験者	大学看護学科長・母性看護学教授(助産師職能委員長)
学識経験者	大学専攻科助産学准教授
学識経験者	元助産師職能委員長(助産師コーディネーター)
島根県健康推進課	課長
島根県医療政策課	課長
島根県看護協会	会長
島根県看護協会	常任理事(事務局コーディネーター)

協議会の開催状況

- ★日程調整をして全員出席となるように努めた。また、会議終了時に次回開催日を決めた
- ★出向助産師や看護管理者の立場で報告をしてもらい、具体的内容を伝えるようにした。

第1回 26年6月

25年度出向事業報告

- ★事務局CD
- ★出向先看護局長
- ★出向元副看護師長
- ★助産師CD

26年度出向事業計画

- ★事務局CDから提案
- ★委員との意見交換

第2回 26年12月

出向事業進捗状況 の報告

- ★事務局CD
- ★出向助産師
- ★助産師CD

助産師出向県内報告会 (案)について提案・ 協議

- ★事業推進CD
- ★委員との意見交換・
助言

第3回 27年3月

26年度事業報告

27年度事業計画

- ★事務局CD

助産師出向県内報告会

★協議会委員の立場から

県医師会長

県健康推進課長

県医療政策課長

意見

★出向元事務長

出向先看護局長

出向助産師

報告

4. コーディネーターに求められる資質

1. 事業目的を明確化、関係者が共通認識できるような配慮

- ・日本看護協会健康政策課助産師課との連携調整
- ・島根県看護協会理事会・常務理事会での説明
- ・県医療政策課並びに県健康推進課との連絡調整
- ・県内分娩取扱い施設(病院・診療所等)との連絡

2. マッチング成立後、出向元、出向先看護管理者から情報収集

- ・出向目的を明確にして、具体的な要望等を聴く
- ・必要時には、CDからも具体的な提案をする
- ・関係者と顔の見える関係づくりを心がける

3. 出向元、出向先の双方に対してのマネージメント

- ・出向までの問題点や課題を整理する
- ・双方への交渉・調整、取りまとめにつなげる

コーディネーター(CD)の位置付けと役割

CDの位置付け

事務局CD

- * 事業推進のための総合的な準備・調整・とりまとめ
- * 希望施設の出向目的や出向先の状況を把握し、施設間の調整・マッチング

助産師CD

- * 出向助産師の助産技術への不安やメンタル面についてサポート

行政CD

- * 契約書の作成に関する事務手続き上の相談や支援
- * 滞在時の処遇面に関する相談や支援



CDが果たした役割

- * 事務局CDは出向支援事業が円滑に推進するように出向元・出向先との連絡調整。助産師CD・行政CDと連絡調整を取り、必要時は同伴訪問等に対応
- * 助産師CDは出向助産師の精神面や助産業務のサポートを担当、また出向元・出向先の助産師指導者への相談・支援にも対応
- * 行政CDは出向元・出向先施設の事務責任者と面談、信頼関係をつくり、出向に関する事務処理や処遇面の相談を担当した
- * 3名のCDは事業の進捗状況等を事務局に報告し協議会との連携をはかった

出向先施設訪問の様子 (助産師CDの役割)

新人助産師、出向3か月頃

2年目助産師、出向3か月頃



出向先施設訪問(CDの役割)

★事業支援CD・助産師CD・行政CD3名で施設訪問。

看護局長にあいさつ、産科病棟に訪問。(小児科混合病棟)

★出向助産師は研修計画のもと指導を受け、訪問時「今日、はじめて一人で分娩介助ができました」と笑顔で報告

★出向支援体制が整い、スタッフの受け入れがうまくできている

★出向助産師と個人面談をして近況把握

★施設訪問の様子は出向元看護管理者にメールと電話で報告



出向についての契約(行政CDの役割)

★ 出向元施設の看護部長・事務部長・総務課事務担当者は出向助産師同伴で出向先施設に来訪。出向支援事業について協定書の締結となった



助産師の研修派遣に関する協定書の概要 (町立奥出雲町と江田クリニック産婦人科)

1. 派遣職員
2. 研修期間
3. 派遣職員の復帰
4. 身分等
5. 給与
6. 服務等
7. 分限及び懲戒
8. 公務災害補償
9. 損害賠償
10. 共済組合
11. 福利厚生
12. 勤務状況報告
13. その他



出向元・出向先施設交流会(事務局CDの役割)

- * 出向先看護局長他看護職3名、県医療政策課看護職確保Gの担当者も参加
- * 出向元の院長、産人科医師も出席され、「地域でお産を守りたい思い」が伝わった
- * 出向元院長から助産師へのメッセージをもらい、和やかな雰囲気での意見交流
- * 院内見学、看護宿舎の見学



これから目指すこと

日本看護協会健康政策部助産師課・県行政（医療政策課・健康推進課）・県医師会や
県助産師会等の関係団体・助産師養成機関等との連携強化を図って事業実践を継続！

★すべての妊産褥婦と新生児に、安全で
安心な出産環境を整備するため、助産師
が積極的に活躍できるよう、国や都道府県
に働きかけよう！！

★出向支援モデル事業から出向支援導入
事業につなげていき助産実践能力の強化
や、助産師の地域偏在への是正に努め地
域貢献を目指そう！！

★行政における保健医療計画策定時に、
周産期医療体制の強化のため、助産師を
含む人的資源配置の在り方の明確化を
求めよう！！ 日本看護協会助産師課資料から

ご清聴ありがとうございました

